



箱根町社会福祉協議会より



令和5年度

年末たすけあい運動にご協力お願いします！

受付期間：12月1日（金）～12月31日（日）



この運動は、だれもが住みなれた地域で安心して生活していくために、住民の「たすけあい」をもととした福祉のまちづくりを進めるものです。

この運動へ寄せられた寄付金は、町内の生活支援を必要とする世帯に「年末慰問金」として直接お贈りするほか、ボランティア育成事業など社会福祉協議会が実施する地域福祉活動費に使われます。

この運動の趣旨をご理解のうえ、“たすけあい”の心を持って、町の地域福祉の推進のため、ぜひご協力をお願いいたします。

共同募金の一環である「年末たすけあい運動」への寄付には、税制上の優遇措置があります。詳しくは本会ホームページをご覧ください

<https://hakone-shakyo.jp/>

募金
受付

箱根町社会福祉協議会（神奈川県共同募金会箱根町支会）

TEL0460-85-9000 担当 山本

裏面に前年度募金実績と募金の活用実績を掲載しています



令和4年度募金実績報告

募金総額 1,551,903円 ご協力ありがとうございました！

集まった募金は、町内の生活支援を必要とする世帯に「年末慰問金」として配分をさせていただきました。



年末たすけあい募金は、その他このような取組に活用しています



住民の「憩いの場」サロン活動や、福祉活動を行う地区社協の活動支援など



ボランティアの育成や活動助成、福祉教育や災害時のボランティア活動費など



高齢者や児童、障がい者の福祉事業や、災害見舞金など



フードバンク活動費（食料のおすそ分け）など

～“たすけあい”“ささえあい”のご協力をお願いいたします～

誰でも気軽にどうぞ(*^^*)!

きんとき寄せ木 サロン



サロンは地域の人たちの参加で作り上げる、みんなが気軽に集まれる場所です。

あなたも参加して一緒にサロンを楽しい会にしませんか？
参加者募集中です！誰でもお気軽にお越しください♪

日 時：令和5年12月26日（火）14時～16時

場 所：仙石原いこいの家

内 容：ラジオ体操 祝い箸袋作り

参加費：お茶菓子代として一人100円

※飲み物持参（コロナ対策のため）

お問い合わせ

伊東元子（86-3766）または

高橋重子（84-6066）



みんなで楽しむ!

芦／湖サロン

芦／湖サロンは地域の人たちの参加で作上げる、みんなが気軽に集まれる場所です。あなたも参加して一緒に芦／湖サロンを楽しい会にしませんか？
気軽に集まれる場所が近所にあるっていいですね。



日時：令和5年12月20日（水） 11：00～

場所：元箱根集会所集合

**内容：みんなでクリスマスケーキと
他お楽しみを食べましょう！！**

参加費：お茶代として一人100円

（内容により変更するときがあります）



お問い合わせ：箱根町社会福祉協議会 担当：山口

電話番号 → 85-9000

認知症サポーター



養成講座

認知症サポーターは特別なことをするのではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人とその家族を温かく見守り、声掛けやちょっとした手助けができる地域の応援者です！



【講座の内容】

- ★ 認知症の原因や症状の基礎知識
- ★ 認知症の方の気持ちや接し方
- ★ 認知症の方を支える活動の紹介

【対象者】

- ★ 地域を支えたい方
- ★ 認知症に関心のある方
- ★ どなたでも

【開催日】

令和6年

1月26日(金) 14:00~15:30 仙石原文化センター2階 第1会議室

2月 9日(金) 14:00~15:30 社会福祉協議会 会議室 (湯本)

※ 講師：認知症キャラバンメイト

※ 受講希望の方は下記までお申し込みください

お問い合わせ・お申込み
箱根町地域包括支援センター
認知症地域支援推進員：平嶋

☎ **85-3002** お気軽にどうぞ！



参加
お待ちしております！

「知っている」と

「知らない」とでは大違い！

知は力ない！

知っていれば怖くない！

正しい知識を身に着けよう！

認知症？



もの忘れ？



予防も大事！



認知症は、誰でもなる可能性がある病気です。
いつ自分や家族が、友人や知人が認知症になるかわかりません。
認知症になっても住み慣れた箱根町で生活できるよう
認知症サポーターを増やす取り組みをしています。



受講者のみなさんに認知症
サポーターの証となる箱根町
オリジナルの『オレンジリング』
をお渡しします！

～箱根町の求人一覧サイトができました！～

HAKONE WORK

はこワーク!

週1日～・3時間～ご相談可能◎
未経験者歓迎の“プチ勤務”求人を紹介！
隙間時間で働きたいママさんや、
短時間で働きたいシニアの方も◎



【客室清掃】

箱根湯本駅徒歩10分
時給 1,300円～
週1日～・4時間～
★まかない付き★
TEL:0460-85-5301
(福住楼)



【調理補助】

箱根湯本駅徒歩10分
時給 1,300円～
週1日～・4時間～
★専門知識不要★
TEL:0460-85-5748
(マイクール祥月)



【レストラン】

芦ノ湖
時給 1,200円～
週2日～・3時間～
★車通勤OK★
TEL:0465-20-7868
(小田急 山のホテル)



【レジ販売・調理補助】

箱根町
時給 1,112円～
週1日～・5時間～
★服装自由★
TEL:0460-83-7310
(道の駅 箱根峠)



【洗い場スタッフ】

仙石原
時給 1,200円～
週1日～・3時間～
★シフト自由★
TEL:0460-85-6655
(ススキの原一の湯)

詳しくはこちら！

▶「はこワーク！」ページ



りずむ

令和5年11月27日
箱根町立湯本幼児学園

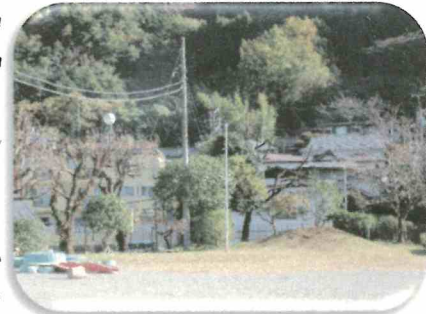
- ◎箱根一貫教育の合言葉
『箱根を愛し
かしこく やさしく たくましく』
- ◎湯本幼児学園個性化目標
『異年齢保育を生かした園づくり』

手紙を読みましょう！
時間に遅れたり、忘れ物が多か
たりするとお子さんの自己肯定
感が下がってしまいます。やれば
できる！のサポートを一緒に
していきましょう

山肌に紅葉がまとい、秋の深まりを感じます。先日伸びきったおにぎり山
周辺の木々を剪定していただき、すっきりしました。今年中にはおにぎり山
が少し高くなる予定です。

環境の変化に敏感なのは子どもたち！いつもおにぎり山の道路側で遊ん
でいた子どもたちは「なんか明るいね」「お日さまが見えるよ」「ぎくろはも
ういいや(3か月間食べ続けたので…)」などと話していました。

暑い夏、日陰を作ってくれていた木々のおかげで様々な遊びが展開してい
ました。幼児期は環境による教育と言われますが、自然の環境も子ども達の
遊びに大きく影響します。自然の恵みに感謝です。



勤労感謝「いつもありがとうございます」

3～5歳児で消防署・役場・交番・かっぱ天国さん・竹いちさんなどお世話になっている地域の方々にお礼に
行き、リースのプレゼントをしました。「かわいいね」「ありがとう」「これつくったの？すごいね」など声を
かけていただき、満面の笑みを浮かべていました。地域の方々の温かさを感じた子ども達でした。

指導力向上研修・園小中合同研究会のお礼

10/26・30 連日の早帰りのご協力ありがとうございました。近い日にちでの就労の調整、感謝いたします。

指導力向上研修は『自然物とのかかわりを通して好奇心や
探究心を育む』という研究テーマで保育参観と研究発表を行
いました。私たちは、日頃からドキュメンテーションを用い
た園内研究を実践しており、保護者の皆様もその記録を玄関
先で見て下さっています。写真やコメントを通して、子ども
の育ちがわかると思います。この日は秋晴れで子ども達が園
庭の自然物を通して遊びを発展させている様子が見られま
した。コロナで公開保育が中止となっていたので久しぶりに
間近で子どもの様子を見られるとあって下郡の幼稚園・保育
園・指導主事の方々…お客様も沢山来ました。

その中で素敵なエピソードがありましたので紹介しま
す！お客様全員にお土産を渡したいという思いから、松ぼっ
くりにごんぐりを付けたオブジェを作り一人一人にプレゼ
ントしていた子どもがいました。誰に言われたわけでもな
く、自らの気持ちで作りはじめたN児！優しい気持ち・おもて
なしの心が育っていることに感心しました。

これからも子どもを真ん中に置き、環境構成を日々考え、
『環境を通しての学び』を深め
ていきます。保護者の皆様が空
き箱やペットボトルなど素材を
集めて持ってきてくださるこ
とも環境の一つです。
いつもありがとうございます。



お店屋さんオープン！

年長児・だいすき組が「映画館やりたい」
「ジオパーク作りしたい」などやりたいこと
がふつつつ湧いてきて、11/21 からいろ
んなお店屋さんがオープンしています。年
下児がお客さんとして来てくれて大盛況
です。それに刺激され、3.4歳児も何か作り始
めたようです。園の中では日々刺激し合い、
一人一人がやってみたい！まねしたい
な！〇〇さんと同じこ
とをしてみたい！と思
い小さな夢を実現する
ことが成長の一歩とな
ります。



第2回乳児ふれあい会

今回は、親子でふれあい遊びを楽しんだ
後、保護者は別室で園長から「愛着関係の
大切さ」を主にした話とzoomを使って日
常の様子を生中継でご覧いただきました。

zoomでの生中継は子どもの姿を通して
どのような経験をしているか、子ども達は
何を学んでいるかなど幸子先生が詳しく話
してくださり、目を細めている保護者の姿
が印象的でした。また、フリートークの場
面ではシャワーの話になりましたね。各家
庭の様子を交換しあえる仲がこれからもず
っと続いていくとよいと思いました。





彫刻の森美術館にて



箱根教育合言葉 箱根を愛し かしく・やさしく・たくましく

令和5年11月20日(月) 箱根町立仙石原幼児学園

教育課程研究会

東海大学児童教育学部准教授寶來生志子先生を招いて「育ちと学びをつなぐ園小連携と接続の充実」という題で講演会とワークショップを行ないました。4園の職員23名、仙石原小学校から2名、計25名の職員が講演会に参加しました。ワークショップでは、「子どもが夢中になって取り組む姿」の写真をそれぞれが持ち寄り、子どもの気持ちやその時の援助について話し合いました。子どもが夢中になるには、「安心、安全な環境」「時間や場の確保」「やってみないと興味、関心がもてる環境」「教師の見守り、援助のタイミング」などが大切だと共有しました。園小連携で大切なことは、お互いの授業や保育を見合い、お互いを知り認め合うことで、小学校は0からのスタートではなく園での経験や学びが続いていくことだと再確認しました。年長組の就学への準備が進んでいます。一人一人の子どもたちが学校へ行くことが楽しみとなるよう学びをつないでいけるよう連携、接続を深めていきたいと思えます。

11月も後半になり、色とりどりの木々の葉が落ち始め、秋の深まりと同時に少しずつ冬の訪れを感じる頃となりました。子ども達は、きれいな落ち葉や木の実を見つけては、嬉しそうに集めて宝物のように持ち帰るのを楽しんでいます。

幼児クラスでは、園図書の貸し出しをしています。その中で、子ども一人一人と関わるのを楽しみにしています。同じ本を毎回楽しむ子、兄弟が好きな本を必死で探す子、おなじシリーズの本、同じ作者の本を借りる子等様々です。読み聞かせの習慣化をすることで、語彙力や想像力、感性を豊かにする効果があります。絵本が好きになる環境は①絵本がすぐ取り出せる②読み聞かせが生活の一部になっている③おもちゃが必要以上にない④年齢発達、興味関心にあった絵本があることです。それを基に園でも家庭でも絵本に触れる穏やかな時間が増えるといいですね。大人が本を読む姿を真似して読みだす子どももいます。親子で読書を楽しむ時間も増えてと素敵ですね。



学校(園)へ行こう週間(15日~17日)

15日から3日間。仙石原小学校と合わせて学校(園)へ行こう週間を行ないました。参観された保護者の皆様ありがとうございました。今回は、「子どもの世界に入り込まず、外から見てほしい」とお知らせしていただきましたので、外側から園の様子を見ていただきましたが、いかがでしたか。一人でじっくり遊ぶ姿、友達と楽しく遊ぶ姿、先生や友達と遊びを広げる姿は見られたでしょうか。乳児ふれあい会、食育(魚・米)、交通安全指導、防火指導、七五三詣り、学習発表会見学、おもちゃランドと行事が盛りだくさんの行こう週間でした。食育で魚をおろすのを見ていた子どもが次の日、魚を作っていたり、年長のラーメン屋さんを真似してチュールップ組でお店が開店したり、子どもたちは、実体験をすぐに遊びに展開していきます。子ども達一人一人の成長を少しでも感じていただけたのではないのでしょうか。感想は、連絡帳等にご記入ください。

支援センター ~ わいわい・がやがや~

仙石原幼児学園の支援センターでは、毎日のように未就園児の親子が通ってきていて賑やかな声が聞こえてきます。今月は、いろいろなイベントを行ないました。7日は、ビクターセンターのつくしさんに自然の遊びを教えて頂きました。当日は、雨のため、ホールで行ないました。たくさん落ち葉を持ってきてそれを踏んだり、かけたり、たらいに入れてプールにしたり音やにおい、感触を味わいました。その後は、杉の木の間伐材で作られた積み木で遊び、参加した保護者と先生で即興の創作話もしました。室内ではありましたが秋を感じられるひとときとなりました。13日は、町の栄養士笠間さんより離乳食を中心に食事の話をして頂きました。大切なのは親子で食事を楽しむこと。親が子どもに「おいしいね。」と声をかけながら食べることです。栄養相談等個別にお願いすることもできますので、心配な方は、声をかけてください。支援センターは月曜日~金曜日 9時~15時 12~13時はランチタイムです。お弁当持参でご利用下さい



乳児ふれあい会



おもちゃランド



食育





す

ま

い

る



園小中箱根教育合言葉「箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく」

朝晩はだいぶ冷え込み、箱根の山々の木々も綺麗に色づき始めました。天気の良い日は空気が澄んでいる分、空と湖の青さ、富士山の雪化粧の白、そして鳥居の赤と色のコントラストがくっきりとしてとてもきれいです。子ども達と湖畔を歩いていると思わずゆっくり深呼吸をしたくなります。「寒いよ」と首を縮める子ども達ですが、よいどんの掛け声で元気よく走りだすと次第に体も温まっていきます。観光客の方に「速い！速い！」「大きくなったら駅伝にでるのかしら？」と励まされてまたスピードがあがり、一緒に走っている私の方が息が上がりそうになります。来年のお正月の「東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)」は100回記念大会です。園児たちは各ご家庭で応援していたと思いますが、来年の1月2日は、園の前の沿道から子ども達と駅伝走者にエールを送る計画です。回覧板でもお知らせしましたが、お時間がありましたら園まで足をお運びください。一緒に応援しませんか？お待ちしております。

園小中合同研究会「箱根ハートフル」

毎年、園、小学校、中学校の職員が集まり研修会を開きます。「箱根ハートフル」は、もう保護者の方もご存じの通りコミュニケーション力や互いを認め合う力、自己肯定感を高めていくものです。コロナ禍、人との接触を避けてきた数年間。マスク越しでは、なかなか表情を読み取ることも出来ませんでした。たかが数年ですが、子ども達にとっては、計り知れないデメリットがあったと感じます。今年は、「箱根中学校」が会場になり中学生の取り組みを参観し、協議をしてきました。各学年で取り組みは違いますが、生徒の皆さんがとても素直で教師の話を聞きながら、友達の良さに気付き互いに伝え合う姿が見られました。エクササイズだけではなく日々の先生方の声掛けや生徒に向き合う姿勢が伝わっているのではないかと感じます。幼稚園を卒園した子ども達が「先生！」と声を掛けてきてくれることも嬉しいことでした。箱根教育の特色のひとつ「園小中一貫教育」の一コマにもなります。



みんなおおきくなりました

11月15日は七五三です。出かける前に、担任から七五三の由来を聞き、神様に大きくなったことへの感謝を伝えるに箱根神社に伺いました。参道の端を歩きながら、「神様ってどこにいるの？」「先生はあったことある？」「怖いかな？」そんな会話が続きます。本殿に上がらせて頂き、今年は年長のみさきさんがお代表になって玉串をささげました。こんな貴重な経験ができることにも感謝です。これからもみんな元気におおきくなりますように！

トリックオアトリート！

「お菓子をくれなきゃいたずらするぞ！」そう言って地域をまわらせて頂きました。地域の皆様、子ども達にお声掛けをしてくださりありがとうございました。温かくしていただいた分、自分や友達、周りの人を大切にできる人になって欲しいです。

大成功！焼き芋大会

11月9日秋晴れの中、先日杉山保長さんの畑で収穫したサツマイモで、焼き芋大会を行いました。今年は杉山さんが丹精込めて育ててくださったサツマイモがコンテナに3箱。子ども達が洗っても洗ってもなかなか終わらずにいるといきいき体操の方が手伝ってくださり芋の準備が整いました。ちょうどその頃、阿部さんと大場さんが行っていた火越しもいい具合に出来上がり、お芋や家から持ってきたウィンナー、餅やマシュマロ、などを焼いて楽しみました。煙の香りや火の温かさを感じながらの焼き芋は、秋の風物詩にもなっています。未就園児のきらきらキッズの小さなお友達も集まり、ほくほくのお芋を頬張り笑顔いっぱいの時間になりました。いつもご協力いただいています、地域の皆様ありがとうございました。



🍊おいしい親子遠足🍊

「今年の親子遠足は、どこにしよう？」と子ども達に投げ掛けてみました。条件は、「みんなが行きたいと思う所」「8時30分頃から15時頃までに帰ってこれる所」です。行きたい所がある人は、自分で調べてきてそれぞれがプレゼンテーションをしました。諏訪の原公園、水族館、動物園、遊園地などが挙がりましたが、みんなが選んだところは「ミカン狩り」です。湯本から電車を乗り継いで根府川の「きのこ苑お山のたいしょう」へ行きました。小田原駅では数人が乗り遅れてしまうアクシデントが…。先に行った子ども達は、乗り遅れた友達をずっと心配していたそうです。やっと合流してミカン狩りの開始。「お日様に当たっているところが甘いかも」「大きいのがいいな。」そう言いながら収穫の楽しさと甘酸っぱいミカンの美味しさを堪能してきました。園児の人数が限られているので、以前のように貸し切りバスを利用していた遠足はなかなか難しくなっていますが、公共の乗り物を利用した遠足では、また違った経験を友達や保護者の方と共有できました。今後も子ども達にとって何が必要なのかと一緒に考えながら進めていきたいと思っています。



湯本小だより

第7号

令和5年11月15日

箱根町立湯本小学校

西田 孝予

～ 箱根教育合言葉 箱根を愛し かしこく やさしく たくましく ～

秋も深まり



「先生、昨日はありがとうございました」と6年生に話し掛けられ、何のことかなとポカンとしていると「だって、昨日は、箱根の森小学校に体育大会の準備に行ってくれたんでしょ」という言葉が続きました。10月25日箱根町体育大会の朝のことです。なんだか心が温かくなりました。自分たちのために準備をしてくれた人がいることに気付き、感謝の気持ちを素直に表すことができる。すばらしいですね。

「練習の成果が発揮できました」と1年生が全校の前で自分の感想を述べています。1, 2年生の音楽朝会のことです。演奏を披露した後、感想を求められ、手を挙げて発言をしました。他の児童も次々に続きました。たのもしいですね。

秋も深まり、実りの時を迎えています。湯本小の子供たちも健やかに成長しています。ありがたいですね。

★よろしくお願ひします!★

高橋 康江さん
がスクールサポート
スタッフとして11月
9日に着任しました。
休み時間の児童の見守りや、授業の準備等の仕事をします。



★★おめでとうござひます!★★

中崎夢乃栄養教諭が、無事に出産されました。今後は育児休業を取得します。

バッチリ決まったー湯本ソーラン節 子供たちへの声援ありがとうございました。



10月14日(土)秋晴れのもと、運動会を実施しました。

湯本小名物、個々に意気込みを発表してからスタートした徒競走、大きな拍手をいただいた1～3年生の表現「スマイル戦隊 ユモユモレンジャー」、4～6年生による「力強くたくましい湯本ソーラン節」。PTA企画「親子対抗綱引き合戦」も大いに盛り上がりました。幼児学園の年長児と5年生の「デカパン競走」はなんとも微笑ましかったです。今年度の運動会スローガンのとおり「元気いっぱい あきらめず挑戦する」姿にあふれた運動会になりました。

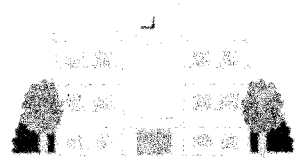
また、今年度は、地域・ご来賓の皆様からも声援を送ってもらいました。今まで以上の応援に後押しされ、子供たちは練習の成果を十分に発揮することができました。保護者・地域・ご来賓の皆様ありがとうございました。今後もよろしくお願ひします。

保護者の皆様には運動会の準備や片付け等にご協力いただき、当日は円滑に運営できました。感謝申し上げます。

・・・校舎長寿命化改良工事について・・・

令和3年度から校舎長寿命化改良工事(大規模改修)の準備がはじまりました。令和3年度には校舎の耐久性等の調査をし、令和4年度基本設計、今年度は詳細設計と進めています。予定では令和6年度工事開始という計画です。

校舎長寿命化改良工事に向けては、児童や教職員をはじめとする多様な人々が利用しやすい施設のあり方を検討するための検討委員会が令和4年度に設置されました。委員会の構成員は学校代表者、保護者代表者、自治会代表者、関係各課です。大規模改修ですから、教室の配置や教室に置く備品に至るまで、検討が必要です。学校の教職員も何度か話し合いを持ち検討委員会でも望みを出しました。11月14日には第4回目の検討委員会が開かれ、工事設計や工事日程などの説明が事務局からありました。委員の皆様からは「子供の学びや育ちの保障」「安全安心な環境」という視点の意見を出していただきました。保護者の皆様には、改めて改修内容や工事日程等をお知らせいたします。



ヤングケアラーも 二存じですか？

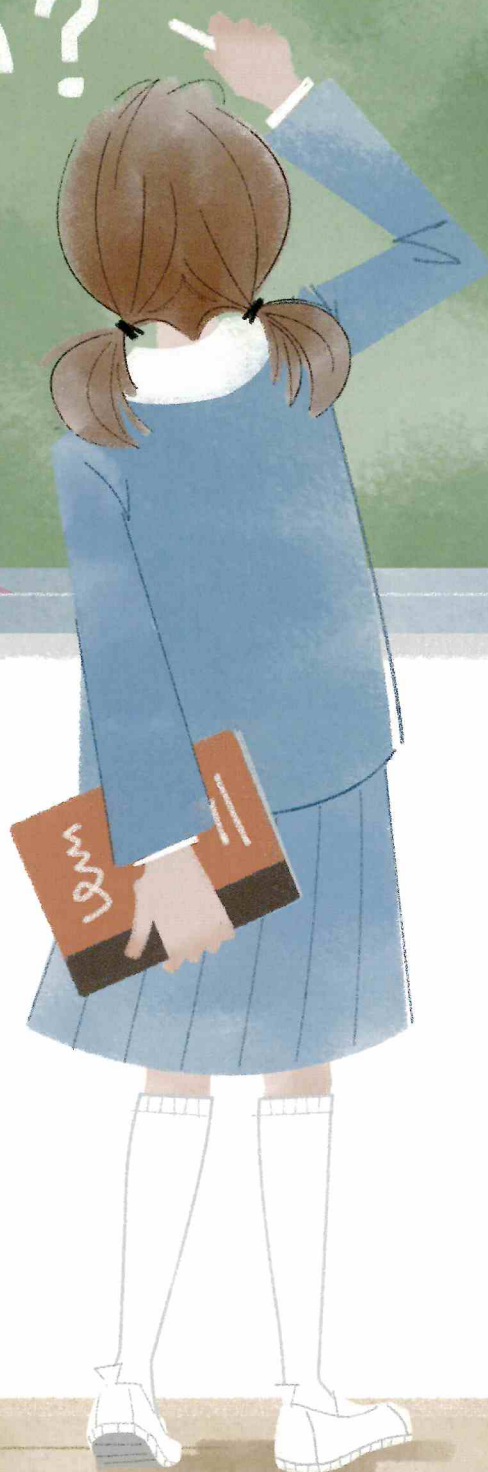
監修／森田 久美子

立正大学社会福祉学部社会福祉学科 教授・
一般社団法人日本ケアラー連盟 理事

日常的に家事や介護、家族のお世話を
している子どもたちがいることを知って
いますか？

彼らの多くが「お手伝い」の域を超えた
役割と責任を背負っています。

“ヤングケアラー”と呼ばれる子ども
たちの存在に目を向け、彼らが発する
SOSに耳を傾けてください。



あなたの周りにいませんか？

こんな子どもたちがヤングケアラー

一般に、本来大人が担うような家族のケア(家事、介護、きょうだいの世話、感情面のサポートなど)を日常的に行っている18歳未満の子どもをヤングケアラーといいます。



障がいや病気のある家族に代わり家事(買い物、料理、掃除、洗濯など)をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声掛けなどの気遣いをしている。



障がいのある家族や日本語が話せない家族のために通訳をしている。



心が不安定な家族の話をしている(精神疾患や依存症の家族のケア)。



家計を支えるために働いて、障がいや病気のある家族を助けている。



がん・難病など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレなどの介助をしている。

日本ケアラー連盟の資料をもとに作成

ケアによる影響について

家族をケアすることで生まれる素晴らしい価値がある一方で、適切な支援がなく、多くの負担・責任が子どもにのしかかった場合、生活・健康・その後の人生などにマイナスの影響が生じる可能性があります。

良い面

- 料理や掃除などの実践的な生活スキルが身に付く
- さまざまな背景を持つ他者への配慮・思いやりが育つ
- 障がいや病気への知識・理解を得る
- ケアをしている家族との絆を実感できる など

悪い面

- 教育の機会を逃す
遅刻・早退・欠席、勉強時間を確保できないことなどによる成績不振、進学や就職を諦める など
- 心身の健康を害する
睡眠不足、疲労感、落ち込んだりイライラしたりなど感情が不安定になる など
- 孤独や孤立に苦しむ
部活に入ったり友人と遊んだりできず、人間関係を築く機会が少ないために孤独感や孤立感を深める

病院への付き添いがあるから部活に入れない

自分以外に介護できる人がいない。進学も就職も考えられない

きょうだいの世話で毎日遅刻してしまう

夜遅くまで家事が終わらなくて、授業中に寝てしまう

誰にも話せない、寂しい



私たち大人はどう関わっていくのか

ヤングケアラーは、自覚がないなどの理由から、自ら相談することが難しい状態にあります。ご近所や学校など、あなたの周りにいる子どもに困っている様子がみられたら、まずは彼らの「話」をきいてみてください。

「話」をきく

「ひょっとしてこの子はヤングケアラーかも」と思ったら、まずは彼らの置かれている状況について確認を。子どもたちの担うケアの内容を丁寧にきいてみてください。その上で注意したいのが、**彼らが話してくれた内容について、あなたの尺度で善しあしをジャッジしたり、解決しようとしたりしないこと。**美談で済まされても、大好きな家族を悪く言われても、そうした周りからの言葉や価値観にさらされるのはつらいことです。

何をどれくらいお手伝いしてる？

お友達と遊べてる？

学校には通えてる？

今の状況についてどう思ってる？

子どもたちは、事実をきいてほしい、状況を理解してほしいだけなので、それに対して「かわいそう!」「ひどい!」などの決めつけや強要はしないこと。個別にきける空間をつくることも大切です。

支援につなぐ

状況によっては、相談窓口(裏表紙参照)や支援制度の情報を伝えたり、相談するよう促したりすることも大切。ただし、彼らの気持ちを無視して話を進めないよう注意してください。**最も尊重すべきは、本人やご家族が今の状況をどう思っているのか、です。**



「ケア」と「お手伝い」の違い

家事や買い物と聞くと「それはお手伝いでしょ?」と考える人もいるかもしれませんが、しかし、彼らが担うケアは

- ①年齢や成長段階に見合わない負担・責任を負う
- ②日常生活に支障があるほど長時間にわたるものであり、相手の生命・生活・健康を支えるケアは「お手伝い」という言葉でおさまるものではありません。



大丈夫だよ

死にたい...



ケアをすることは、良いことでも悪いことでもありません。大切なのは、ヤングケアラーが自分の生活や健康を保てること。「学校に行って勉強し、友人と遊び、部活動に励む。そうして自分を形づくるピースを集め、自分の将来について考え、自分の人生を歩んでいく」その実現のために何ができるのか。私たち大人はどう関わるべきなのか。ぜひ一度考えてみてください。あなたの気付きが支援の輪につながっていくはずですよ。



相談窓口

●児童相談所相談専用ダイヤル

いちばやく おなやみを

0120-189-783 (フリーダイヤル)

虐待の相談以外にも子どもの福祉に関するさまざまな相談を受け付けています。

●チャイルドライン(子ども向け)

0120-99-7777 (フリーダイヤル)

いじめや児童虐待など、さまざまな悩みをもつ18歳までの子どもに対する電話カウンセリング。「オンラインチャット相談」もあり。

●24時間子供SOSダイヤル(子ども向け)

なやみ言おう

0120-0-78310 (フリーダイヤル)

全国どこからでも、夜間・休日を含めて、いつでもいじめやその他の悩みを相談できます。

●その他、経済的な困窮や、障害・介護サービスについては、お住まいの市区町村の担当課へ



〒250-0398 神奈川県足柄下郡箱根町湯本256
箱根町福祉部 子育て支援課
TEL 0460-85-9595 FAX 0460-85-8124

県民のまもり

KANAGAWA PREFECTURAL POLICE



第317号

発行 令和5年12月
神奈川県警察本部
総務部広報県民課
電話 045-211-1212

<https://www.police.pref.kanagawa.jp/>

安全な登山のために



神奈川県は、国内でも登山時の事故が多い県です。楽しい登山は、安全の備えから始まります。次の「最低限これだけは準備を」との項目を、登山準備の参考になさってください。

1 事前の情報収集

山の地形や、過去の遭難事例などを調べると、装備やルート選びの参考になります。天気予報は、登山中もチェックしましょう。

2 無理のない登山計画と「登山計画書」の提出

年齢や技量に見合った山やコースを選定し、明るいうちに下山しましょう。

「登山計画書」は、遭難時に救助の大きな手掛かりとなります。詳しくはこちらから ⇒



県警察HP

3 万全の装備

次の5つは、必需品です。万全の装備に、必ず加えましょう。



紙の地図

分かりやすく
電池いらず



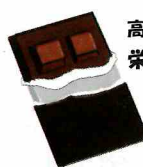
携帯電話と予備電池

いざと
いう時に通報



ヘッドライト

下山が遅れたら
足元が真っ暗!



非常食

高カロリーで
栄養を補給



カッパ

山の天気は
変わります
晴れでもカッパ!

4 冷静な状況判断と慎重な行動

山の天気は急変します。疲労などで突然に体調を崩すこともあり得ます。「せっかく来たから」と無理をするのは危険です。中止や引き返す判断は、早めに行いましょう。

5 下山こそ注意を

遭難の多くは、下山時に起きています。足腰が疲れ、転倒や滑落の危険が高まるのです。

また、道に迷って勘で進むと、突然に崖から落ち、遭難することがあります。「迷ったら、元の道へ」、又は「木々のない開けた場所」で、救急隊に発見されやすい状態で、体力を温存しましょう。



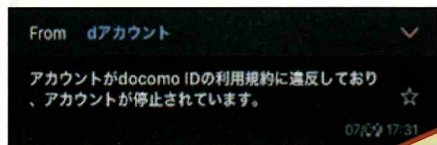
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

「県民のまもり」は、神奈川県警察ホームページでもご覧になれます。

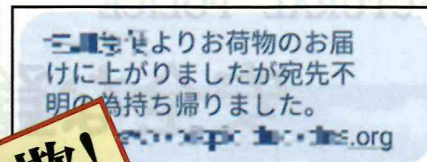
「あれ、このショートメール、ちょっと変かな？」

各種企業を装うフィッシングに注意!!

通信系企業を装ったショートメール



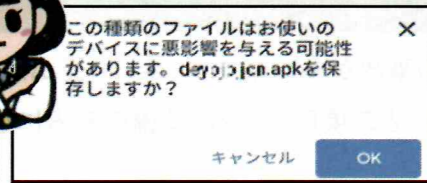
運送系企業を装ったショートメール



全部詐欺!



不正なアプリをダウンロードさせようとするメール



重要 POINT

- メール内のリンクは、安易に開かない!
- メールが本物かの確認は企業の公式サイトから!
- アプリのインストールは、正規か信頼できるサイトで!
- ID、パスワードは公式サイトである事を確認後に入力!

ログインアクティビティを確認する
http://nttdocomo-co-jp.***.shop/

一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター (JC3) のホームページでは、「脅威情報」としてフィッシング等の手口が画像や動画で分かりやすく公開されています。(右の二次元コードからどうぞ)



タンス貯金は危険がいっぱい!

現金を自宅で保管する方に、ご注意申し上げます。

皆さんの中には「手元に、ある程度の現金を置いておかないと不安。」と、ご自宅で大金を管理している方がいらっしゃると思います。

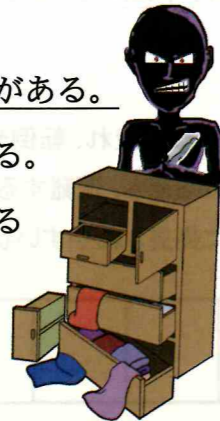
でも、今までに、突然大金が必要になった経験は、おありですか。ほとんどの方は、ないと思います。

手元に大金を置くと、

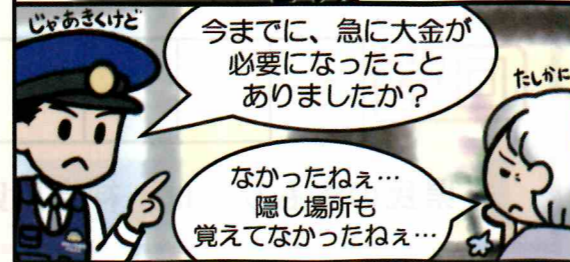
- ・詐欺や強盗犯の被害に遭う可能性がある。
- ・火災や水害の時に失う可能性がある。
- ・家族が誤って廃棄する可能性がある
- ・保管場所を忘れることがある

のです。

自宅に高額な現金を保管するのはやめましょう



だからやめよう! タンス貯金



暴力団を排除するために

～ 暴力団を恐れず、金を出さない、利用しない、協力しない ～

「安全安心な生活のため、こんなことを見かけたり聞いたりしたら、警察に教えてください。」

- ・暴力団に「用心棒料」や「みかじめ料」を支払っている店を知っている。
- ・暴力団事務所で工事をしている。
- ・暴力団員風の者が集まって宴会をしていた。
- ・暴力団員風の者が頻繁に出入りする場所がある。
- ・暴力団員が少年を連れて歩いている。



○ 暴力団に関するご相談や情報提供は、最寄の警察署又は下記の連絡先へ。

- 神奈川県警察本部暴力団対策課 不当要求拒絶コール 0120-797049 (なくなれ要求)
- (公財)神奈川県暴力追放推進センター 045-201-8930 (やくざゼロ)
- かながわ県民センター県民の声・相談室 045-312-1121 (内線) 2241
- 川崎県民センター県民の声・相談室 044-549-7000 (内線) 36
- 横須賀三浦地域県政総合センター県民の声・相談室 046-823-0210 (内線) 234
- 湘南地域県政総合センター県民の声・相談室 0463-22-2711 (内線) 2133
- 県央地域県政総合センター (高相) 県民の声・相談室 042-745-1111 (内線) 662
- 県央地域県政総合センター (厚木) 県民の声・相談室 046-224-1111 (内線) 2135
- 県西地域県政総合センター (小田原) 県民の声・相談室 0465-32-8000 (内線) 2323
- 県西地域県政総合センター (足柄上) 県民の声・相談室 0465-83-5111 (内線) 252
- 海老名暴力相談室 (海老名市役所内) 046-231-2111 (内線) 777
- 高津暴力相談室 044-822-5987 (直通)

令和5年11月25日～12月1日は「犯罪被害者週間」

犯罪の被害に遭われてお困りの方、一人で悩まずに、まずはお電話ください

かながわ犯罪被害者サポートステーション

☎ 045-311-4727



犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギョっちゃん」

御相談の事例は、掲載しません。秘密を徹底的に守ることを分かっていたいただきたいからです。

運転を続けるか、卒業か。高齢者の運転のお悩み相談はこちら

安全運転相談室からのご案内

「運転するのが不安になってきたなあ。
この間は、ヒヤッとしたり。
運転免許、返納しなきゃダメかなあ。」



悩んだら、

#8080（シャープハレバレ）に

電話で相談できますよ！

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時
（祝日及び年末年始の休日を除く）

まずは相談 気持ちハレバレ

運転免許証を返したい方、運転経歴証明書の交付を受けることができます

「高齢のため、運転が不安……」という方が、運転免許証を自主的に返納できるのが、「運転免許の自主返納制度」です。

また、「運転免許証を身分証明書類にしているのので、返納は困る。」という方は、運転免許の全部を返納すると、公的な身分証明書として使える「**運転経歴証明書**」の交付を受けることもできます。



運転経歴証明書を提示すると、様々なお店や企業などで特典を受けることができます。

受けられる優待サービスを見てみましょう！



利用できる企業等は？

免許証に「サポートカー限定」の条件が付けられます



安全運転サポート車（サポカー）は、目の前の歩行者や障害物などを感知して、ドライバーに警告したり、自動でブレーキをかけたり、アクセルペダルを踏み違えた時に急発進を抑えるなどの機能がある車です。



お持ちの運転免許に**サポートカー限定条件**を付与すると、

運転できる対象車両をサポカーのみに限定することができます。

試験等はなく、普通免許をお持ちの方であれば、年齢を問わず、どなたでも条件の付与が可能です。



※ サポートカー限定条件付免許の**対象車両リスト**は、二次元コードから確認できます。（警察庁ウェブサイト） ↑

詳しくは運転免許センター（045-365-3111）又は 神奈川県内の各警察署まで